

【研究主題】 富永っ子の心を育む読書活動

【副題】 ～ 芳洲先生七つの願い ～

【学校名】 長浜市立 富永小学校

1 本校の概要

令和6年に創立140周年を迎えた伝統を持つ本校は、長浜市高月町の北東部に位置し、校区の東部に高時川が流れ、二方が山に接した田園地帯の中にあります。昔ながらの農村地帯の面影を残しながらも活気ある村づくりや、集落を中心に景観を整える街おこしが盛んです。一方、国道8号線沿いは、新しい集落団地ができたり、大型店舗や企業等が進出したりしてきています。本学区は、「雨森芳洲」の出身地であり、古くから地域・学校で慕い敬われています。富永小学校では明治時代より芳洲先生七つの願いを教育理念として教育活動を推進し、令和時代になってもその伝統を受け継いでいます。

2 取り組んだ内容

(1) 朝の読書活動

朝のこつこつタイムに図書室の本の貸し出しを、毎日、学年ごとに行っています。朝の貸し出しの時間になると、絵本袋を手にして、図書室に向かいます。1年生は6年生と同じ日に割り振っており、6年生が図書室のカウンターで、パソコンを使って1年生の貸し出しを行います。1年生は、読みたい本を手にして、借りられるのを楽しみに列になって並んでいます。貸し出しを終えると、絵本袋に入れて教室に戻って読んだり、その日の帰りに絵本袋を手を提げて家に持ち帰って読んだりしています。他の学年も、同じようにして、毎朝、どこかの学年が本の貸し出しを行って、列を作っています。



(2) 芳洲読書賞

学校図書館で借りた本や、毎週火曜日に来校される学校図書ボランティアの方による読み聞かせ、長浜市立図書館の貸し出し事業などで、本を読んだ記録を、一人一冊ずつのファイルにつけて、読書の足跡を見えるようにしています。「芳洲読書賞」として、たくさん読書できたことを表彰し、読書の励みになるように全校で取り組んでいます。

3 活動の成果

読書活動の中で、新しい本が図書室に入ると、たちまちそのコーナーに人だかりができて、子どもたちは新しい本に手を伸ばします。今回の読書活動推進事業でいただいた図書は、本校の蔵書には無いものや、本校の子どもたちの興味関心に合うもの、ぜひ子どもたちに読んでもらいたいものなどを、学校司書さんに選定していただき、コーナーに設置しました。

「読書離れ」「活字離れ」が心配される昨今ですが、本を選ぶワクワク感や、本を開いてみたい、もっと読んでみたい、続きが気になる…など、子どもたちの読書への興味感心を喚起し、読書への意欲を継続することができました。楽しい本やおもしろい本、読んでみたくなる本が見つかる素敵な図書室にするために、いただいたたくさんの図書を活用させていただいています。この読書活動の取組は、今後も大切に継続していきたいと考えています。

